

指標確認シート

基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）

政策（1）地域資源を活かした特色あるまちづくり

指標No. 1

指標		100% 50% 0% H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 目標値 50.0% 20 19.7 22.7 23.5 横ばい	評価
能代市を他に誇れると思う市民の割合			
基準値	R4目標値		
—	50%		
推移の分析・考えられる要因			
風の松原、米代川、きみまち阪などの特徴的な地域資源は多く点在しているが、日常に溶け込んでいて、客観的な評価が難しく、誇りと思えるところまで意識が醸成されていない。また、市民意識調査結果は、「どちらともいえない」が40%ほどと多く、「誇れると思う」が何に対してなのか定義があいまいなことが影響していると考えられる。			

指標No. 2

指標		80% 60% 40% 20% 0% H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 目標値 60.0% 52.5 51.2 46.7 48 52.3 53.9 横ばい	評価
このまちが住みやすいと思う市民の割合			
基準値	R4目標値		
51.2%	60%		
推移の分析・考えられる要因			
総合計画の指標のうち「子育てのしやすさ」が増加傾向にあり、子育て支援等、住みやすさに繋がる施策が好影響を与えている可能性があると思われるが、微増しているものの全体的にはほぼ横ばいである。全体として「どちらともいえない」という回答もかなり多く、他地域と比べ住みやすさを感じられる実感を得るところまでいっていないと考えられる。			

指標No. 3

指標		※H29以前は単年度実績		100世帯 80世帯 60世帯 40世帯 20世帯 0世帯 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 目標値 25世帯 98 47 75 21 6 2 順調	評価
市への相談を経て移住した世帯数（5カ年累計）					順調
基準値	R4目標値				
6世帯	25世帯				
推移の分析・考えられる要因					
・全国的に地方移住への関心が高まっており、東京では2020年から転出超過の傾向にある。こうした状況を踏まえ、移住に伴う補助金制度や各種支援制度の整備により、能代市への移住定住促進を図っていることが功を奏し、世帯数は増加傾向にある。					

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「横ばい」

【参考】事業等の確認資料


基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）


政策（1）地域資源を活かした特色あるまちづくり

【目指す姿】

- 地域の特性が活かされ、能代らしいまちづくりにつながること。
- 地域の資源が認識され、観光や特産品、市のイメージ向上に活かされること。
- 市の魅力が向上し、住み続けたいまち、暮らしたいまちになること。

【実施してきた主な事業】

事業名	バスケの街づくり推進事業	
<p><事業内容> バスケミュージアムの設置、運営。 バスケの街づくり市民チャレンジ事業の実施、能代カップの支援 3×3ユニットの貸出（右図参照） バスケの街づくり推進計画の推進。推進にあたっては市民の意見を反映できる仕組みを構築している。</p>		

事業名	宇宙のまちづくり推進事業	
<p><事業内容> 銀河連邦交流、のしる銀河フェスティバル、 能代宇宙イベントの実施等。 「宇宙なんちゃらこてつくん」コラボ事業。</p>		©Space Academy/ちよつくら月まで委員会2

事業名	シティセールス推進事業
<p><事業内容> 能代の魅力を発掘・創造し、SNS（フェイスブック、twitter）を活用した市内外への情報発信や宣伝活動等を実施。 シティセールス推進指針の策定→今後さらなる情報発信力の強化等を行う。</p>	

事業名	移住定住環境整備事業
<p><事業内容> 移住定住を支援するための情報提供や相談対応、移住体験ツアー等の実施。 移住・就業支援金、若年世帯移住定住奨励金などの助成金制度により、移住希望者が安心して移住できる環境となるよう支援。</p>	

その他事業

恋文のまちづくり推進事業
 地域おこし協力隊事業
 ふるさと納税推進事業

若年世帯移住定住奨励事業 → R4から移住定住
 就業等移住支援事業 → 環境整備事業に統合
 移住定住推進事業 ※R4から本格実施

指標確認シート

基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）

政策（2）みんなが参加し活躍する地域づくり

指標No. 4

指標		評価	
市民活動支援センター登録団体数		順調	
基準値	R4目標値		
70団体	80団体		
推移の分析・考えられる要因			
市民活動支援センター登録団体の活動内容の周知や資材貸出し等が充実し、登録団体からの口コミにより増加したものと考えられる。			

指標No. 5

指標		評価	
ボランティアセンター登録者数		不調	
基準値	R4目標値		
3,139人	3,300人		
推移の分析・考えられる要因			
災害へのボランティア派遣が少ないことやコロナの影響により更新する登録者が減少したと考えられる。			

指標No. 6

指標		評価	
自治会・町内会加入率		不調	
基準値	R4目標値		
77.9%	80%		
推移の分析・考えられる要因			
チラシ配布等により自治会・町内会への加入呼び掛けを行っているが、賃貸入居者等の加入は難しく、減少傾向にある。			

指標No. 7

指標			評価
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合			不調
基準値	R4目標値		
37.3%	50%		
推移の分析・考えられる要因			
自治会・町内会の役員等、活発に市民活動を行っている人材は市地域で固定化する傾向にあることやコロナ禍による行事や活動の自粛が続き、様々な活動への関心が希薄となっていると推測される。			

指標No. 8

指標			評価
女性就業率			横ばい
基準値	R4目標値		
54.7%	60%		
推移の分析・考えられる要因			
H29-R1で5ポイント増となり、その後は横ばいとなっている。H29-R1の増の要因は不明。			

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「不調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）

政策（2）みんなが参加し活躍する地域づくり

【目指す姿】

- ボランティア等の活動がしやすく、団体等の交流や連携が進むこと。
- 自治会・町内会や団体等の活動が活発になり、地域の課題解決や身近なまちづくりにつながる。
- 性別や国籍等にかかわらず、地域社会で活躍できること。

【実施してきた主な事業】

事業名	市民まちづくり活動支援事業
＜事業内容＞ 市民が主体的に取り組むコミュニティビジネスやまちづくり活動への補助 ・地域の課題の解決を図るためのコミュニティビジネスの立ち上げ ・地域資源を活用した市民参加型のイベント等 ・市民参画による自主的なまちづくり推進事業又はその準備事業	

事業名	ボランティア養成等事業
＜事業内容＞ ボランティアセンターの運営。 ボランティアの登録・あっせん、相談・援助（除雪ボランティア含む）、ボランティア講座等の開催、啓発等のための情報誌発行（ボランティア通信等）、活動団体との連携等	

事業名	地域集会所建設費、修繕費補助等事業
＜事業内容＞ 地域集会所の建設（新築・改築・購入・増築）への補助 地域集会所の修繕への補助、修繕に必要な原材料の支給	

事業名	日本語学習ふれあい交流事業
＜事業内容＞ 日本語講座の実施（漢字、ひらがな、カタカナなどの日本語や日常会話、方言等についても指導） 日本語指導ボランティア養成講座の開催	

その他事業

市民活動支援センター事業

地域づくり支援事業

自治会・町内会活動支援事業

男女共同参画社会推進事業

人権擁護活動事業

戦没者追悼式・平和祈念式典開催事業

指標確認シート

基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）

政策（3）心豊かな暮らしを支える健康づくり

指標No. 9

指標		評価
からだ健康だと思える市民の割合		
基準値	R4目標値	
61.6%	70%	

推移の分析・考えられる要因
 昨年度と比較すると微増している。特定健診やがん検診の啓発・環境整備等で、健康に関する市民の意識は高まりつつあると考えるが、健診の受診や生活習慣改善などの行動に結びついていない市民がまだ多いことが予想される上、高齢化率の上昇も要因の一つと考えられ、健康に不安を感じている人が少なくないと考えられる。

指標No. 10

指標		評価
心が健康だと思える市民の割合		
基準値	R4目標値	
58.6%	70%	

推移の分析・考えられる要因
 例年微増傾向であったが、昨年度と比較するとやや減少している。心の健康には、身体状況、社会経済状況、住居や職場の環境、対人環境など多くの要因が影響していると考えられる。昨年度と比較すると指標はやや減少していることから、強いストレスを感じている方、休養不足の方、うつなどの病気の方、人とのつながりが希薄がちな1人暮らしの方、新型コロナウイルスの影響で生活が変化した方など、支援の必要な方が少なくないと考えられる。

指標No. 11

指標		評価
がん死亡率（人口10万人対）		
基準値	R4目標値	
462.3	400	

推移の分析・考えられる要因
 昨年度と比較すると大幅に減少しているように見えるが、過去5年の推移を見ると、増減を繰り返している。部位別の構成は、胃、肺（気管、気管支）、結腸・直腸の割合が変わらず高いため、食生活改善や運動の習慣化、禁煙等の取組を継続（強化）する必要があると考えられる。

指標No. 12

指標			評価	
自殺死亡率（人口10万人対）			基準値 33.0	R4目標値 県自殺率以下
推移の分析・考えられる要因 数年前から20～40の範囲で増減している。自殺は健康問題、経済、生活問題、勤務問題、学校問題などの要因が多様かつ複合的に絡み合い、自殺に追い込まれると考えるが、増減の要因については解明し難い。				

指標No. 13

指標			評価	
喫煙率			基準値 19.1%	R4目標値 10.0%
推移の分析・考えられる要因 昨年度と比較するとほぼ横ばい。喫煙率が下がらない要因として、禁煙に無関心な方と、ニコチン依存や心理、行動的依存等により、禁煙が非常に困難となっている方が多いと考えられる。				

指標No. 14

指標			評価	
特定健康診査の受診率			基準値 28.2%	R4目標値 55%
推移の分析・考えられる要因 令和元年度まで微増であったが、その後3年度にかけて若干の減少は、コロナ禍による受診控え等の影響が考えられる。				

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「横ばい」


【参考】事業等の確認資料

基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）
政策（3）心豊かな暮らしを支える健康づくり

【目指す姿】

- 普段から健康を意識して生活し、生涯を通して健康でいられること。
- 身近で悩みごと等の相談ができ、心の健康が保たれること。
- 地域医療が維持され、必要なときに必要な医療が受けられること。

【実施してきた主な事業】

事業名	健康づくり運動推進事業
<p><事業内容> 健康に関する関心や意識を高めながら生活習慣を改善し、市民の健康づくりを推進するため、男性の料理教室、禁煙教室、ウォーキングチャレンジなど、生活習慣を改善するための支援を実施。</p>	
	

事業名	健康チャレンジポイント事業
<p><事業内容> 生活習慣の改善への動機づけと定着化の取組を支援し、健康管理に対する意識を高めるため、健康に関する活動を行った場合や、健診受診・健康教室への参加時にポイントを付与。商品券等と交換可能。</p>	

事業名	がん対策強化推進事業
<p><事業内容> 各種がん検診を実施するほか、制度の周知や受診勧奨を行い、がんの早期発見・早期治療につなげる。また、ピロリ菌感染検査費用、すい臓等がندوق受診費用の一部を助成。</p>	

事業名	福祉医療事業
<p><事業内容> 乳幼児や小中学生、高校生等、障がい者、ひとり親家庭の児童を対象に医療費の一部を助成</p>	

その他事業

健康教育・相談事業
保健センター健診事業
脳ドック検診助成事業

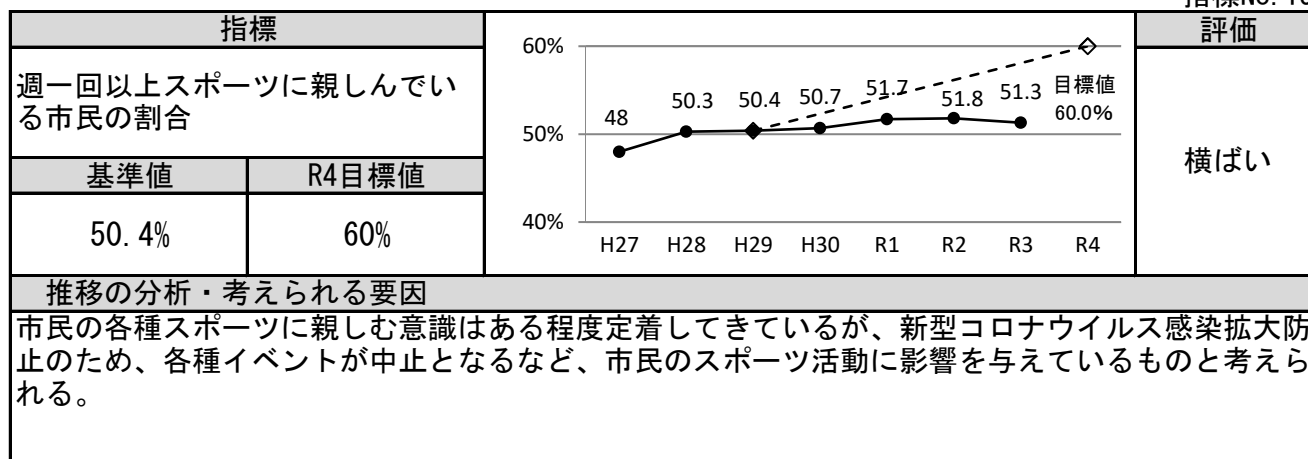
産科医等確保支援事業
秋田しらかみ看護学院補助事業
市立診療所運営事業

指標確認シート

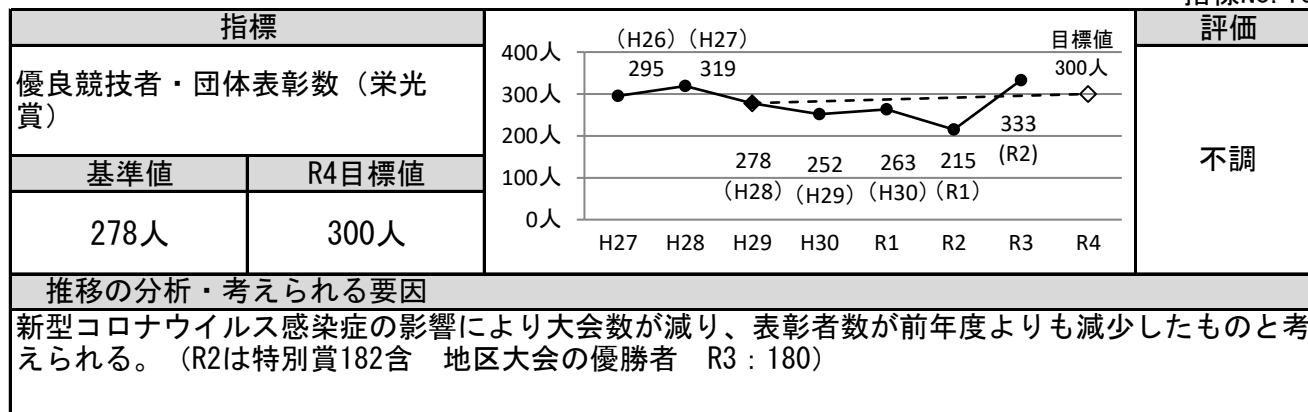
基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）

政策（4）気軽に親しみ楽しめるスポーツ

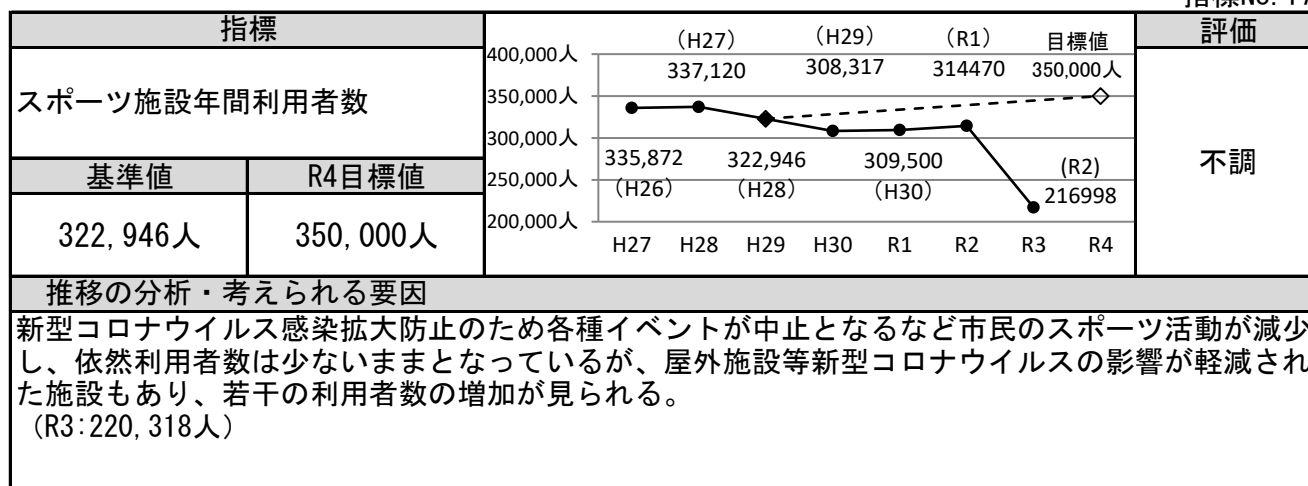
指標No. 15



指標No. 16



指標No. 17



市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「不調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標 1 元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）
政策（4）気軽に親しみ楽しめるスポーツ

【目指す姿】

- スポーツを気軽に楽しみ、健康づくりや体力づくり、仲間づくりができること。
- スポーツに取り組める環境があり、競技力が向上すること。
- スポーツイベント等を通じて交流が広がり、地域の活性化につながること。

【実施してきた主な事業】

事業名	スポーツ少年団育成等事業
＜事業内容＞ スポーツ少年団の育成のため、組織体制の基盤整備に助成、選手派遣費の補助、スポーツ少年団交流大会の開催等	

事業名	バスケの街づくり事業
＜事業内容＞ 各種バスケットボール大会（教育長杯ミニバスケットボール交流大会、NOHIROバスケットボールフェスタ等）の実施、各種バスケットボール大会への補助、屋外リングボードの管理等	

事業名	きみまちの里フェスティバル開催費補助事業
＜事業内容＞ 「きみまちの里フェスティバル」として、「きみまちニツ井マラソン」と「きみまち物産フェア」を開催、実行委員会への補助。 ※マラソンは市内外から2,000人前後の参加者がある。	

事業名	グラウンドゴルフ場整備事業
＜事業内容＞ 運動・スポーツの機会を創出し、市民の健康づくりやいきがいづくりを推進するため、競技環境の整備を行っていく。令和3年度に土木工事や給水管布設工事を行い、令和4年度中の供用開始を目指す	



その他事業

スポーツ推進委員活動等事業

スポーツ大会支援等事業

チャレンジデー開催費補助事業

全国大会等出場等褒賞事業

能代カップ高校選抜バスケットボール大会補助事業

体育施設管理運営事業

指標確認シート

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）

政策（1）地域や社会で支える子ども・子育て

指標No. 18

指標									評価	
婚姻数		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	目標値	不調
基準値	R4目標値	170	164	175	158	128	162	118	200件	
175件	200件									
推移の分析・考えられる要因 秋田県における婚姻数は全国で最も低い状況となっており、女性の平均初婚年齢の上昇や未婚率の増加等の影響が指標にも表れていると考えられる。										

指標No. 19

指標									評価	
子どもを生み育てやすいと思う市民の割合		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	目標値	横ばい
基準値	R4目標値	27.1	27.4	24.5	26.5	30.2	31.7	40.0%		
27.4%	40%									
推移の分析・考えられる要因 令和3年度の市民意識調査では、前年度より数値が伸びたものの、目標値には達していない。引き続き、子ども・子育て支援事業の各制度を広く周知するとともに施策の検討が必要と思われる。										

指標No. 20

指標									評価	
子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	目標値	横ばい
基準値	R4目標値	26	26.6	26.2	20.7	25.5	27.2	24.5	35.0%	
26.2%	35.0%									
推移の分析・考えられる要因 令和3年度の市民意識調査では、前年度より数値が落ちている。コロナ禍で外出や利用できる支援に制約を受け、周りとの関りが減ったことも要因と考える。引き続き、子ども・子育て支援事業の各制度を広く周知するとともに施策の検討が必要と思われる。										

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「横ばい」

【参考】事業等の確認資料

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）
政策（1）地域や社会で支える子ども・子育て

【目指す姿】

- 結婚や出産を望む人が、希望を叶えられること。
- 地域で安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること。
- 地域住民と子どもの交流があり、子どもが健やかに成長すること。

【実施してきた主な事業】

事業名	出会い創出イベント等補助事業
<事業内容> 独身男女の出会い創出につながるイベント等に対する支援 <補助対象事業> <ul style="list-style-type: none"> ・原則、市内で実施する交流事業及びセミナー事業 ・参加人数が概ね10人以上で、市内在住者の割合が参加者全体の5割以上の事業 ・参加者が男女とも独身かつ20歳以上の事業 <div style="text-align: right;">など</div>	

事業名	すこやか子育て支援事業
<事業内容> 認定こども園等に入所している児童の保育料等を助成	

事業名	子育てファミリー支援事業
<事業内容> 第3子以降の子が生まれた世帯への一時預かり事業、病児保育事業等の利用料助成	

事業名	産後ケア事業
<事業内容> 医療機関と連携しながら、出産退院後の母子に心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てできる体制を構築	

事業名	放課後子ども教室推進事業
<事業内容> 放課後・週末等の子どもの居場所づくりとして、放課後子ども教室や週末活動等を実施	

事業名	高等職業訓練促進給付事業
<事業内容> 母子・父子家庭の母又は父が、就職に有利な資格を取得するため修学する場合に給付	

その他事業

不妊治療費助成事業

結婚祝い金事業

子育て祝い金事業

子育て世代包括支援センター事業

保育士等確保対策事業

乳幼児健康診査事業

子育て短期支援事業

母子・父子自立支援員配置事業

指標確認シート

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）

政策（2）次代を担う子供を育てる学校教育

指標No. 21

指標			評価					
子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合			<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>R4目標値</th> </tr> <tr> <td>50.2%</td> <td>60.0%</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	50.2%	60.0%	横ばい
基準値	R4目標値							
50.2%	60.0%							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>小学校や中学校のふるさと教育や学校・家庭・地域連携総合推進事業の推進により、地域と共にある学校づくりを進めてきたことにより割合が増加していたが、コロナ禍による地域での活動の制限により伸びが鈍化したと考えられる。</p>								

指標No. 22

指標			評価					
地域の行事に参加している児童・生徒の割合			<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>R4目標値</th> </tr> <tr> <td>69.3%</td> <td>70.0%</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	69.3%	70.0%	順調
基準値	R4目標値							
69.3%	70.0%							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>小学校や中学校のふるさと教育やキャリア教育において、地域に根ざした教育を継続することにより増えてきたが、コロナ禍の中、各地区の行事等が中止や縮小されたため、実績値は減少傾向にあると考えられる。</p>								

指標No. 23

指標			評価					
コミュニティ・スクール数			<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>R4目標値</th> </tr> <tr> <td>3校</td> <td>全小中学校</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	3校	全小中学校	順調
基準値	R4目標値							
3校	全小中学校							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>小規模小学校の統合が完了したことから、全小・中学校へ導入した。</p>								

指標		評価																					
不登校児童・生徒の出現率		<table border="1"> <caption>不登校児童・生徒の出現率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>出現率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(H26)</td><td>0.79</td></tr> <tr><td>(H27)</td><td>0.78</td></tr> <tr><td>(H28)</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>0.72</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>1.10</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>1.14</td></tr> <tr><td>(R2)</td><td>1.14</td></tr> <tr><td>(R3)</td><td>1.14</td></tr> <tr><td>(R4)</td><td>0.60</td></tr> </tbody> </table>		年度	出現率 (%)	(H26)	0.79	(H27)	0.78	(H28)	0.58	(H29)	0.72	(H30)	1.10	(R1)	1.14	(R2)	1.14	(R3)	1.14	(R4)	0.60
年度	出現率 (%)																						
(H26)	0.79																						
(H27)	0.78																						
(H28)	0.58																						
(H29)	0.72																						
(H30)	1.10																						
(R1)	1.14																						
(R2)	1.14																						
(R3)	1.14																						
(R4)	0.60																						
基準値	R4目標値																						
0.58%	0.60%																						
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>家庭の生活環境の急激な変化や生活リズムの乱れによる不安、無気力、昼夜逆転生活が不登校の要因として挙げられる。また、人間関係に不安を抱えている児童生徒の増加も要因として考えられる。全県、全国でも同様の傾向が見られ、本市も全県、全国と同じように不登校児童生徒が増加傾向にある。</p>																							

市民協働会議 評価	
--------------	--

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）
政策（2）次代を担う子供を育てる学校教育

【目指す姿】

- 子どもが良好な環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること。
- 学校が地域のかたちとして開かれ、家庭や地域と連携した教育が進むこと。
- 子ども一人ひとりが命の大切さを学び、人や社会との関わり方を身に付けられること。

【実施してきた主な事業】

事業名	G I G Aスクール事業【拡大】
＜事業内容＞ 児童生徒向け1人1台の教育用タブレットの導入やアドバイザーの配置により、I C T教育基盤を整備。児童生徒の情報活用能力の向上を図る。	

事業名	ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業
＜事業内容＞ 、能代山本地区の人材を育成し、地元定着を推進することを目的とした奨学金。大学などに入学する学生が、入学一時金として100万円以内を無利子で借りることが出来る。返還期間中に能代山本地区に居住している場合は、返還が免除される。	

事業名	ふるさとキャリア教育推進事業
＜事業内容＞ 小中学校における特色ある教育活動の支援や、各小学校の代表児童が集まる小学生ふるさと学習交流会、中学2年生が全員集まる能代っ子中学生ふるさと会議塔を実施。郷土に対する愛着やほこり、ふるさとの未来を担う自覚を高める。	

事業名	心のケア充実事業
＜事業内容＞ いじめや不登校を未然に防止するため、相談員の配置や、不登校保護者会等を開催 小・中学生が抱える不安やストレスなどを和らげたり、いじめや不登校の解消・未然防止に取り組みながら、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を整える	

その他事業

小中学校施設整備事業

日本語学習支援事業

教員の働き方改革推進事業

スクールバス運行等事業

奨学金貸付事業

コミュニティ・スクール事業

指標確認シート

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）

政策（3）地域や社会に活かす生涯学習・文化

指標No. 25

指標		評価
知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合		
基準値	R4目標値	
19.8%	25.0%	

年次	割合 (%)
H27	16.3
H28	15.8
H29	19.8
H30	12.7
R1	15.1
R2	14.8
R3	11
R4	25.0 (目標値)

推移の分析・考えられる要因

長引くコロナ下で、地区活動や行事が中止されるなど、市民の活動も自粛傾向にあるため減少しているものと考えられる。

指標No. 26

指標		評価
自主学習グループ数		
基準値	R4目標値	
236団体	250団体	

年次	団体数
(H26)	240
(H27)	231
(H28)	236
(H29)	236
(H30)	233
R1	251
R2	251
R3	232
R4	250 (目標値)

推移の分析・考えられる要因

会員の高齢化及び人口減少に伴う解散などによる登録グループ数の減少傾向にあるが、公民館等で軽運動に取り組む団体や公民館講座から発足した団体の新規登録による増加も見られた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う施設の休館や活動自粛が影響し、年度毎の登録団体が減少しているため、評価には加味せず、横ばいと評価した。

指標No. 27

指標		評価
自主学習グループ会員数		
基準値	R4目標値	
3,388人	3,500人	

年次	会員数
(H26)	3,503
(H27)	3,474
(H28)	3,388
(H29)	3,441
(H30)	3,306
R1	3,486
R2	3,486
R3	3,197
R4	3,500 (目標値)

推移の分析・考えられる要因

会員の高齢化及び人口減少に伴う解散などによる登録グループ数の減少傾向にあるが、公民館等で軽運動に取り組む団体や公民館講座から発足した団体の新規登録による増加も見られた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う施設の休館や活動自粛が影響し、年度毎の登録団体が減少しているため、評価には加味せず、横ばいと評価した。

指標No. 28

指標			評価	
地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合				不調
基準値	R4目標値			
30.5%	34.0%			
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止又は規模縮小した祭り・行事が多かったため、減少したと考えられる。</p>				

指標No. 29

指標			評価	
社会教育施設年間利用者数（スポーツ施設・図書館を除く）				不調
基準値	R4目標値			
348,857人	350,000人			
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>目標値より若干低めに推移していたが、令和元年度から大きく下回るようになった。新型コロナウイルス感染症が影響していると考えられる。</p>				

指標No. 30

指標			評価	
図書館利用者数				不調
基準値	R4目標値			
109,719人	120,000人			
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新型コロナウイルスの影響による臨時休館や、各種事業の中止、図書館利用の自粛等のため減少傾向が続いていると考えられる。</p>				

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「不調」

【参考】事業等の確認資料

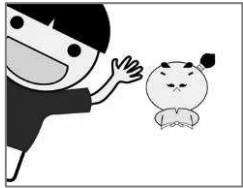
基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）
政策（3）地域や社会に活かす生涯学習・文化

【目指す姿】


- 学べる機会や環境があり、学んだ知識や技能、技術が、地域や社会に活かせること。
- 文化・芸術の活発な活動により、人づくりや地域づくりにつながること。
- 民俗芸能や民俗行事を通して、世代間交流が進み、地域住民の結びつきが深まること。
- 地域の歴史や文化への理解が深まり、地域に愛着や誇りを持てること。

【実施してきた主な事業】

事業名	生涯学習推進事業
<p><事業内容> 広報のしろやホームページ上での生涯学習関連の情報提供、能代市出前講座の周知、学習者の活動支援、学習者と地域をつなぐ場の提供等を実施。</p>	

事業名	のしろDEマナブゥ事業
<p><事業内容> ふるさとへの愛着を育むため、子ども館等の社会教育施設との連携により、能代の特産品や自然等を活かした独自性の高い体験型の講座（ペットボトルロケット制作および打ち上げ、米代川カヌー体験等）を実施。</p>	

事業名	文化財等収蔵庫整備事業費
<p><事業内容> 旧朴瀬小学校を改修して、後世に伝えるべき貴重な文化財や歴史資料などを保存管理する収蔵庫を整備する。</p>	

事業名	檜山安東氏城館跡保存管理事業
<p><事業内容> 国指定史跡である檜山安東氏城館跡の保存・活用のため、檜山城跡発掘調査や案内板の設置、伐木などの整備、遊歩道の除草を実施。</p>	

その他事業

文化会館管理運営事業
文化財等収蔵庫整備事業
公民館管理運営事業

勤労青少年ホーム管理運営事業
働く婦人の家管理運営事業
子ども館管理運営事業

指標確認シート

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）

政策（4）地域で活躍する元気な高齢者

指標No. 31

指標			評価	
高齢者人口に対する自立高齢者率			<p>79.4 79.4 79.1 79.1 78.8 79.1 78.7 80.0%</p>	横ばい
基準値	R4目標値			
79.1%	80.0%			
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>R4. 4末現在：79.2%：基準値と同等のため「横ばい」とした。 基本チェックリストを実施し、要支援・要介護状態になるリスクの高い高齢者を把握し、健康教室等の介護予防事業につなげているが、事業終了後に、健康サークル結成や通いの場への参加といった自主的な活動にまで至っていない状況である。高齢者自身も地域で役割を持ちながら社会参加することができるように体制を整備する必要がある。</p>				

指標No. 32

指標			評価	
自治会・町内会やボランティア活動など、市民活動に参加することを心がけている高齢者の割合			<p>44.5 49.6 45.7 43.9 39.6 40.1 42.3 50.0%</p>	横ばい
基準値	R4目標値			
45.7%	50.0%			
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>自治会・町内会の役員等、活発に市民活動を行っている人材は市地域で固定化する傾向にあると考えるが、高齢者の地域・市民活動等に対する参加意識の変化していると推測される。</p>				

指標No. 33

指標			評価	
高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者数			<p>3,889 4,434 5,115 4,997 5,101 4,739 5,000 1,535 5,000</p>	横ばい
基準値	R4目標値			
5,115人	5,000人			
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>R4（R3実績）1,147人：R2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業を実施できず目標値を大きく下回ったものの、それ以前の年度では概ね達成できたことから「横ばい」とした。</p>				

指標		評価																			
地域包括支援センター相談件数		<table border="1"> <caption>地域包括支援センター相談件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>3,955</td></tr> <tr><td>H28</td><td>5,582</td></tr> <tr><td>H29</td><td>4,336</td></tr> <tr><td>H30</td><td>4,414</td></tr> <tr><td>R1</td><td>4,041</td></tr> <tr><td>R2</td><td>7,495</td></tr> <tr><td>R3</td><td>10,932</td></tr> <tr><td>R4</td><td>(R2) 6,500</td></tr> </tbody> </table>		年度	相談件数	H27	3,955	H28	5,582	H29	4,336	H30	4,414	R1	4,041	R2	7,495	R3	10,932	R4	(R2) 6,500
年度	相談件数																				
H27	3,955																				
H28	5,582																				
H29	4,336																				
H30	4,414																				
R1	4,041																				
R2	7,495																				
R3	10,932																				
R4	(R2) 6,500																				
基準値	R4目標値																				
4,336件	6,500件																				
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>R3年度末実績：13,002件（延べ） 件数が伸びていることから「順調」とした。 地域包括支援センターの周知が進み、高齢者本人や家族からの相談のほか、社協等各種機関からの相談も増えてきていることと、1回の相談では解決しない複雑なケースが増えてきていることが要因と思われる。</p>																					

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「横ばい」

【参考】事業等の確認資料

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）
政策（4）地域で活躍する元気な高齢者

【目指す姿】

- 高齢になっても住み慣れた家庭や地域で、健康でいきいきと自立した生活ができること。
- 高齢者が知識と経験を生かして、社会に参加し、生きがいや地域の活力につながる。
- 介護等が必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられること。

【実施してきた主な事業】

事業名	元気・交流200円バス事業
＜事業内容＞ 高齢者の交通対策のため、満65歳以上の市民を対象に、市内の路線バス乗車分に限り、1回の乗車運賃の上限が200円で乗車できる乗車証を交付。	

事業名	緊急通報装置・ふれあい安心電話事業
＜事業内容＞ 一人暮らし等で生活不安のある高齢者に、緊急通報ボタンを押すか、火災探知機が火を感知すると通報する緊急通報装置の貸与と、安否確認と生活相談のふれあいコール（週1回）を実施。	

事業名	軽度生活援助事業
＜事業内容＞ 高齢者世帯の除雪・草取りなど、日常生活上の軽易な援助を行う軽度生活援助助成券を交付。	

事業名	地域包括支援センター運営事業
＜事業内容＞ 地域で暮らす高齢者の「介護」「福祉」「保健」の面から総合的に支援する地域包括支援センターの運営及び市による監督等の実施。介護予防、相談業務等を行う。	

事業名	地認知症高齢者支援事業
＜事業内容＞ 認知症高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう支援する認知症サポーターの養成等を実施。	

その他事業

高齢者買い物優待事業

高齢者外出支援サービス事業

高齢者の健康意識向上事業

食の自立支援事業

高齢者ふれあい交流施設管理運営事業

能代ふれあいプラザ・高齢者友愛センター管理運営事業

指標確認シート

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）

政策（5）自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障

指標No. 35

指標		目標値		評価
市の障がい者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数 (H18年度からの累計)		42人	42人	横ばい
基準値	R4目標値			
30人	42人			

推移の分析・考えられる要因
グループホームなどの移行後の地域生活を支える体制は徐々に整ってきているが、施設入所者は重度者が多く、住み慣れた現在の入所施設から退所し、地域生活を選択するところまでは至っておらず、移行は緩やかとなっている。

指標No. 36

指標		目標値		評価
事業所における障がい者雇用率 (能代山本)		2.7%	2.7%	順調
基準値	R4目標値			
2.46%	2.70%			

推移の分析・考えられる要因
障がい者雇用に積極的に取り組む民間企業により、障がい者の雇用は増加傾向にある。

指標No. 37

指標		目標値		評価
障がいのある人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合		20.0%	20.0%	横ばい
基準値	R4目標値			
14.1%	20.0%			

推移の分析・考えられる要因
社会参加には人との関わりが伴うが、障がい者と一緒に活動する機会が少ないことが要因の一つとして考えられる。

指標			評価	
公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率				順調
基準値	R4目標値			
18.3%	22.3%			
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>改修が進んだことだけではなく、老朽施設の廃止により、相対的にバリアフリー化施設の割合が高まっている。</p>				

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）

政策（5）自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障

【目指す姿】

- 地域住民やボランティア、福祉関係団体が連携できていること。
- 障がいがあっても社会参加でき、住み慣れた家庭や地域で自立した生活ができること。
- 社会保障制度が整っていて、安心して日常生活を送れること。

【実施してきた主な事業】

事業名	地域福祉コーディネーター事業
＜事業内容＞ 各福祉分野を超えた課題や既存の福祉サービスだけでは対応困難な課題などに対応するため、最初の相談窓口となるコーディネーターの配置し、地域に出向いて支援が必要と思われる人や地域課題の状況調査等を実施。	

事業名	障がい福祉サービス等給付事業
＜事業内容＞ 障がいのある方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように障害福祉サービスなどを提供。障がいの種別にかかわらず、必要なサービスを受けることができる制度。生活介護や就労継続支援、施設入所支援等のサービスがある。	

事業名	生活困窮者自立相談支援事業
＜事業内容＞ 生活保護に至る前段階の自立支援強化を図る相談・支援窓口の設置。 生活困窮者及びその家族、関係者からの相談に応じてアセスメント（評価、分析）を実施し、個々人の状態にあったプランを作成のうえ、必要なサービスの提供につなげる。	

事業名	重層的支援体制整備事業（※R4年度から）
＜事業内容＞ 地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応するため、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制を整備。	

その他事業

民生委員・児童委員支援事業
障がい児通所支援事業
障がい者等自立支援医療事業

障がい者補装具支給事業
身体障害者福祉協会補助事業
障がい者外出支援事業

指標確認シート

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）

政策（1）地域特性を活かした産業創出

指標No. 39

指標			評価					
再生可能エネルギー導入量			<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>R4目標値</th> </tr> <tr> <td>68,650kW</td> <td>158,000kW</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	68,650kW	158,000kW	横ばい
基準値	R4目標値							
68,650kW	158,000kW							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>風力発電にかかる複数の案件が形成されているものの、平成30年度から新たな導入がないため。</p>								

指標No. 40

指標			評価					
商工業振興促進条例に該当する資源リサイクル関連新設・増設企業数（5カ年累計）			<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>R4目標値</th> </tr> <tr> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	1件	2件	順調
基準値	R4目標値							
1件	2件							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>R2年度に秋田エコブラッシュ株式会社の増設があったため、目標を達成した。</p>								

指標No. 41

指標			評価					
能代港の取扱貨物量（能代火力発電所専用棧橋を除く）			<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>R4目標値</th> </tr> <tr> <td>353,655t</td> <td>450,000t</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	353,655t	450,000t	順調
基準値	R4目標値							
353,655t	450,000t							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>原木輸出が好調で過去最高を記録し、R4は367,432tとなる。</p>								

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料


基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）

政策（1）地域特性を活かした産業創出

【目指す姿】

- 地域資源の活用により、産業の創出や関連企業の立地につながること。
- 能代港や高速道路等の利活用により、地域に活気が出ること。

【実施してきた主な事業】

事業名	次世代エネルギー導入促進事業	
<事業内容> 再生可能エネルギー及び水素を中心とした次世代エネルギーの研究や導入を促進し、「エネルギーのまち」を目指した活動に取り組む。		

事業名	能代港利活用促進事業
<事業内容> 港湾利活用促進のためのシンポジウムの開催やポートセールス、クルーズ船の受け入れのほか、能代港の活用、機能強化等についての要望活動を実施。	

事業名	能代港改修事業（県事業負担金）
<事業内容> 能代港における洋上風力発電の設置及び維持管理拠点の形成、物流の強化等のため、県が重要港湾である能代港の改修事業を実施。能代港は今後、岸壁の増深・延長、埠頭用地の拡張等が図られる。	

事業名	みなと祭り補助事業
<事業内容> 港をPRする「のしろみなと祭り」の開催への支援。能代港において、各種ステージイベント、ブルーインパルスジュニアによるショー、体験ブース、飲食ブース等が実施されている。	

その他事業

地域再生可能エネルギー発電会社出資金事業

リサイクルポート推進事業

バイオマスタウン構想推進事業

指標確認シート

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）

政策（2）雇用とにぎわいを生み出す商工業

指標No. 42

指標		※H29以前は単年度実績		目標値	評価
商工業振興促進条例に該当する新設・増設企業数（5カ年累計）				12件	横ばい
基準値	R4目標値				
2件	12件				
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>R2年度に秋田エコプラッシュ、市川スチールエンジニアリング、キョーリン制約の増設、新設があ</p>					

指標No. 43

指標		※H29以前は単年度実績		(R1)	目標値	評価
創業者数（5カ年累計）				38	30人	順調
基準値	R4目標値					
12人	30人					
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>コロナ禍前は景気の持ち直し等や起業マインドの向上により、創業者数が伸びていたが、コロナ禍により伸びが鈍化した。</p>						

指標No. 44

指標		※H29以前は単年度実績		(R1)	目標値	評価
新規学校卒業者就職率（能代山本）				42.5	50.0%	順調
基準値	R4目標値					
39.4%	50.0%					
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>コロナ禍により地元志向が高まったことにより、就職率が高まった。</p>						

指標		※H29以前は単年度実績		目標値	評価
空き店舗利活用件数（5カ年累計）				10件	順調
基準値	R4目標値				
5件	10件				
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>新規創業者向けの各種支援制度や空き店舗改装費補助金の活用、これらの制度間連携、民間事業者の取組等により、利活用件数が利活用件数は順調に推移している。空き店舗の老朽化や事業の不採算による撤退等の課題はあるものの起業の後押しとなっており、商店街団体の組織維持にも効果が図られている。</p>					

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）

政策（2）雇用とにぎわいを生み出す商工業

【目指す姿】

- 新たな企業立地や起業により、良質な雇用の機会が増えること。
- 地元企業の活性化が進み、雇用創出等の効果を発揮できること。
- 商店街に人が集まり、交流やにぎわいが生まれ、街に活気があること。

【実施してきた主な事業】

事業名	企業誘致推進事業
＜事業内容＞ 首都圏企業訪問や各方面からの情報収集、市のセールスポイント情報の構築等による新規企業立地に向けた企業誘致活動や、誘致済企業へのフォローアップ等を実施。	

事業名	創業等サポート事業
＜事業内容＞ 新規創業や既存企業の新事業分野への進出などを総合的に支援するため、専門の相談員による相談窓口の解説及び創業塾の開催し、起業等に必要な知識、ノウハウなどを提供。	

事業名	デュアルシステム事業
＜事業内容＞ 就職希望の高校3年生等を地元就職・定着に結び付けるため、教育活動と企業実習を並行して行い、職業訓練を行うシステム。地元企業と連携し、職業実習等を実施。	

事業名	空き店舗流動化支援事業
＜事業内容＞ 能代市中心市街地活性化計画の重点区域内において、以前商業施設として利用されていた店舗、事業所であって、概ね3カ月以上使用されていない空き店舗を、取得または賃貸により開業しようとする方への改装費等の補助、賃貸者への固定資産税相当額の補助を実施。	

その他事業

伝統的工芸品等後継者育成支援事業
地元企業人材育成支援事業
就業資格取得支援事業

新型コロナウイルス感染症対策支援資金保証料・利子補給費補助事業
起業・新商品開発等支援事業
商店街活性化対策事業

指標確認シート

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）

政策（3）豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

指標No. 46

指標		評価	
観光客入込客数		不調	
基準値	R4目標値		
1,564,437人	1,660,000人		
推移の分析・考えられる要因			
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前のR2年度（R1年入込客数）までは、H30年7月にオープンした道の駅ふたつへの入込好調により、目標値を大幅に上回ることができた。 ・R3年度（R2年入込客数）以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により激減となっている。 			

指標No. 47

指標		評価	
宿泊客数		不調	
基準値	R4目標値		
113,733人	148,000人		
推移の分析・考えられる要因			
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前のR2年度（R1年宿泊客数）までは、能代火力発電所等のビジネス利用が好調だったため、目標値を大幅に上回ることができた。 ・R3年度（R2年宿泊客数）以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により激減となっている。 			

指標No. 48

指標		評価	
豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合（市民意識調査）		順調	
基準値	R4目標値		
41.8%	50.0%		
推移の分析・考えられる要因			
<p>白神山地の眺望、日本海の夕日、きみまち阪などの自然や、だまご鍋、能代うどん、豚なんこつなどの郷土料理は他に誇れる観光資源と言えるが、日常の中に溶け込んでいるため、観光資源としての意識が低いと考えられる。</p> <p>一方で、行政や関係団体以外に市民によるSNS等を用いた地域の魅力発信も増えているほか、地域おこし協力隊の活動において、その良さの再認識に至っている面もあり、推移は順調と考える。</p>			

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「不調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）


政策（3）豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

【目指す姿】

- 観光による交流やにぎわいが生まれ、地域に活気があること。
- 豊かな自然や特色ある伝統行事、食文化等、地域資源の魅力により、来訪者の満足度が高まること。
- 観光やイベントの情報発信が行き渡り、地域のイメージが高まること。

【実施してきた主な事業】

事業名	観光プロモーション事業
<p><事業内容> 能代市への誘客促進のためプロモーション活動を実施。観光ガイドブック及びポスターの作製、ふるさとCM作成、台湾トップセールスの実施、物産展等への出展、首都圏での誘客宣伝活動等を実施。</p>	

事業名	観光イベント等支援事業	
<p><事業内容> 観光客を誘致し、地域の活性化を図るため、港まつり能代の花火、こども七夕、約七夕などの実施団体を支援。</p>		

事業名	地域連携DMO負担金事業
<p><事業内容> 訪日外国人旅行者を含めた交流人口の拡大と地域活性化を図るため、能代山本1市3町の広域連携により、観光地域づくりやインバウンド誘客に取り組む「あきた白神ツーリズム」が設立。その事業費の一部を負担。</p>	

事業名	天空の不夜城推進事業
<p><事業内容> 能代七夕「天空の不夜城」の運行により、能代の観光ブランド力を高め、地域の賑わいと交流人口の拡大を図る。天空の不夜城2基の組立・解体・補修費等への助成を実施。</p>	

その他事業

大館能代空港利用促進事業
旧料亭金勇管理運営事業
広域観光推進事業

観光イベント等支援事業
本因坊戦誘致等事業
ホストタウン事業

指標確認シート

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）
政策（4）力強く持続する農業

指標No. 49

指標		評価	
戦略作目5品目の生産出荷額			
基準値	R4目標値		
1,665百万円	2,000百万円		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>戦略5品目の出荷額の8割以上を占めるネギの作付面積が堅調に増加している。出荷額については、天候の影響により変動がある。</p>			

指標No. 50

指標		評価	
新規就農者数（5カ年累計）			
基準値	R4目標値		
18人	50人		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>国・県・市の新規就農者に対する支援制度及び、農業研修制度の充実と認知度が上がったことで新規就農者数は毎年増加傾向にある。</p>			

指標No. 51

指標		評価	
農業法人数			
基準値	R4目標値		
21法人	25法人		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>圃場整備事業の実施に伴い、農業経営の組織化が進んだ。また、中核規模の農家が集まり地域の担い手となるため組織化する動きもみられる。</p>			

指標			評価	
担い手農地集積率				順調
基準値	R4目標値			
57.7%	60.0%			
推移の分析・考えられる要因 ほ場整備事業が進み、当該地区での農地中間管理事業を利用した集積面積が増加したため。				

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）

政策（4）力強く持続する農業

【目指す姿】

- 地元産の農産物や加工品の市場価値が高まり、産地として確立すること。
- 農業が魅力的な職業として成り立ち、若い人を中心に農業の担い手が増えること。
- 農業の生産性が高まり、経営の強化につながること。

【実施してきた主な事業】

事業名	畑作等拡大総合支援事業
<事業内容> 畑作物全般に対して必要な機械等の導入への支援、本市戦略作物（ねぎ、やまうど、アスパラ、キャベツ）の生産拡大に対する助成、梨やブドウ等の栽培拡大や新品種の導入等に対する支援、健康増進効果のある作物の種苗代への助成等を実施。	

事業名	ネットワーク型園芸拠点整備事業
<事業内容> 園芸メガ団地周辺に新たなサテライトタイプの園芸拠点を整備することへの支援。「白神ねぎ」の販売拡大に貢献すると考えられる。	

事業名	ねぎ産地PR事業
<事業内容> ねぎ産地として市の魅力向上を図るためのPR活動を実施。能代ねぎらいの日イベントやマスコットキャラクター及び着ぐるみの制作等を実施。	

事業名	6次産業化推進事業
<事業内容> 6次産業化、又は農商工連携による新たな加工食品の製造、販売の取り組みを行おうとする農家や地元企業に対する設備投資等への支援	

事業名	農業法人確保・育成事業
<事業内容> 新設された農業法人の活動経費等に対し支援し、大規模土地利用型や複合型など多様な法人を確保・育成する。	

事業名	新規就農者等研修支援事業
<事業内容> 新規就農に必要な技術習得のため、ねぎ等の主要作物の農業技術を学ぶ農業技術センター等での研修に対する支援を実施。	

その他事業

農業技術センター機能強化事業

農産物販路拡大対策事業

県営ほ場整備事業

強い農業・担い手づくり総合支援事業

鳥獣被害（農作物）防止対策事業

多面的機能支払交付金事業

指標確認シート

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）
政策（5）山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業

指標No. 53

指標		評価	
木材製品出荷額		不調	
基準値	R4目標値		
9,001百万円	10,000百万円		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>合板会社の倒産、銘木製材会社の廃業等が相次ぎ、事業所数、従業者数共に減少していることが要因であると考えられる。</p>			

指標No. 54

指標		評価	
日常的に木製品の使用を心がけている市民の割合		横ばい	
基準値	R4目標値		
—	50.0%		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>木製品は他の素材の製品よりも手入れに気を遣わなければいけないものが多く、日常的な使用は伸び悩んでいるものと考えられる。</p>			

指標No. 55

指標		評価	
木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合		横ばい	
基準値	R4目標値		
35.2%	50.0%		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>公共施設の木質化は進んでいるが、商業施設や病院など人の出入りが多い施設は、木質化がそれほど進んでいないことが要因のひとつとして考えられる。</p>			

指標			評価	
秋田スギCLTの使用件数（5カ年累計）			6件 4件 2件 0件	不調
基準値	R4目標値			
0件	5件			
推移の分析・考えられる要因 CLTを製造していた事業者が倒産したため				

指標			評価	
人工林間伐面積			250ha 200ha 150ha 100ha 50ha 0ha	不調
基準値	R4目標値			
139.7ha	200.0ha			
推移の分析・考えられる要因 間伐施業は、国県の補助金を活用しているため、国県の予算状況に左右される。これまでの予算状況から年間100～150ha程度と考えられるため、これまでの推移は順調。R2年度については、新型コロナウイルスの影響により、伐採作業を控えたものによる。				

指標			評価	
皆伐後の植栽面積			150ha 100ha 50ha 0ha	横ばい
基準値	R4目標値			
37.9ha	100.0ha			
推移の分析・考えられる要因 森林所有者の高齢化や地域の過疎化、さらに材価の低迷により、森林への関心が高まらないため。				

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「不調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標3 豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）

政策（5）山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業

【目指す姿】

- 秋田スギの利用が進み、林業や木材産業の経営強化につながる。
- 秋田スギの良さを伝え、木のまちとして、街なかで木のぬくもりを感じられること。
- 産学官の共同研究等の成果により、林業や木材産業の育成につながる。
- 森林の手入れや保全により、水の貯留や浄化などの機能を維持でき、水産資源の持続的な利用につながる。

【実施してきた主な事業】

事業名	地場産材PR支援事業【拡大】
＜事業内容＞ 木材産業の進行のため、首都圏等で開催される見本市等への地場産材の展示会などへ出展する事業者に対し、経費の一部を助成。 主なPR活動実績 木都のしろ木の市、WOODコレクション モクコレ、 秋田材展（筑波相互市場 茨城県つくば市）	

事業名	木製品研究開発支援事業
＜事業内容＞ 木材利用推進のため幅広い分野への製品開発を支援。技術者給、調査費、施策費、実験費に対して補助を行う。	

事業名	木のまちづくり推進事業【拡大】
＜事業内容＞ 秋田杉の使用拡大を促し、地場産材の需要拡大を図るため、秋田スギの温もり補助金として、住宅の新築・増改築・リフォームに秋田スギ内外装材を使用する方に対して、秋田スギ材料購入費用の一部を助成。	

事業名	森林経営管理事業
＜事業内容＞ 私有人工林の適正な経営や管理を推進するための森林の境界調査等を実施。 今後、所有者の意向を踏まえ、林業経営に適しているか、いないか判断のうえ、市または意欲ある民間林業経営者が管理する仕組みを検討する。	

その他事業

林業担い手支援事業

森林・林業活性化総合支援事業

林道改良事業

林道施設長寿命化対策事業

松くい虫対策事業

水産業振興事業

指標確認シート

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（1）安全な暮らしを守る防災・防犯体制

指標No. 59

指標		評価
災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合		
基準値	R4目標値	
39.9%	50%	

年次	割合 (%)
H27	42.9
H28	40.8
H29	39.9
H30	35.6
R1	39.6
R2	42
R3	47.7
R4	50.0

推移の分析・考えられる要因

昨今のゲリラ豪雨等の自然災害に対する危機意識が向上したほか、地域の防災力を高め、災害による被害を予防・軽減することを目的とした自主防災組織の設立促進や支援、住民参加による防災訓練の実施や防災に関する出前講座等の取り組みにより防災意識の向上につながっているものと考えられる。

指標No. 60

指標		評価
消防団員の定員の充足率		
基準値	R4目標値	
83.2%	90%	

年次	充足率 (%)
H27	83.8
H28	82.7
H29	83.2
H30	81.9
R1	81.4
R2	80
R3	80
R4	90.0

推移の分析・考えられる要因

人口減少及び消防団員の高齢化に伴い、定員数に対し、消防団員の担い手が不足している状況となっているため。

指標No. 61

指標		評価
自主防災組織数 ※組織＝自治会・町内会数		
基準値	R4目標値	
5組織	155組織	

年次	組織数
H27	3
H28	5
H29	5
H30	22
R1	161
R2	183
R3	193
R4	155

推移の分析・考えられる要因

地域の防災力を高め、災害による被害を予防・軽減することを目的とした自主防災組織の設立を促進するため、自治会連合協議会等の各種会合での出前講座の実施など啓発活動に努めたほか、自主防災組織設立に関しての支援等の取り組みが組織率の向上につながっているものと考えられる。

指標			評価					
能代警察署管内の犯罪件数			<table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>R4目標値</td> </tr> <tr> <td>257件</td> <td>200件</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	257件	200件	順調
基準値	R4目標値							
257件	200件							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>能代警察署管内において、R2年度の犯罪件数はR元年度の160件と比較して、12件減少している。能代警察署と防犯協会・防犯指導隊の連携を図り、毎月5回青色回転灯車両を用いた市内巡回活動や防犯幟の掲示、広報啓発活動等を行ったことが犯罪件数の減少に繋がったと推測される。</p>								

指標			評価					
能代警察署管内の交通事故死者数			<table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>R4目標値</td> </tr> <tr> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> </table>	基準値	R4目標値	3人	3人	順調
基準値	R4目標値							
3人	3人							
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>能代警察署管内において、R2年度の交通事故死者数はR1年度と比較し、2人減少となっている。市で委嘱している能代市交通指導隊と警察署等関係機関が連携し、各種交通安全運動を実施しており、市民の交通安全意識の醸成に寄与していると考えられる。</p>								

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（1）安全な暮らしを守る防災・防犯体制


【目指す姿】


- 犯罪やトラブルがなく、地域が安全で暮らしやすいこと。
- 災害時に適切な対応がとられ、被害が最小限に抑えられること。
- 安全に通行できる環境があり、交通安全の意識が浸透し、交通事故を防げること。

【実施してきた主な事業】


交通安全運動等活動促進事業

交通指導員の活動及び交通安全協会への支援等

事業名	地域防災力向上事業	
<事業内容>	自主防災組織の活動日や資機材購入費を助成するほか、防災士養成講座開催などにより、防災意識のの普及啓発に努め、地域の防災力向上を図る。	

事業名	防災対策事業	
<事業内容>	非常食・飲料水の備蓄、災害時の情報伝達手段の整備などを行い、災害に備える。	

事業名	空家対策事業
<事業内容>	適切に管理されていない空家を調査し、地域住民の生活環境に影響を及ぼすことがないように、空家の適切な管理や倒壊などの恐れのある危険な空家などに対し必要な措置を講じる。

事業名	交通安全運動等活動促進事業	
<事業内容>	街頭指導や広報活動、市内で開催される大きな行事などの際に、歩行者・自転車利用者に対する交通指導や保護誘導等を行う交通指導員の委嘱、活動支援や、交通安全協会への支援等。	

その他事業

水防訓練事業

地域防災計画推進事業

消防団員活動等事業

消防団員の確保と活動しやすい環境づくり事業

消費生活相談事業

交通安全施設整備事業

指標確認シート

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）
 政策（2）機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

指標No. 64

指標		評価	
道路の整備延長（改良率）			
基準値	R4目標値		
57.5%	58.0%		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>市による道路改良事業の実施や開発行為による新規路線の整備等により、道路実延長に対する改良済道路の比率が増加したことによる。</p>			

指標No. 65

指標		評価	
地域住民やボランティアによる除排雪の協力体制が整っており、冬も安全に生活できると感じる市民の割合			
基準値	R4目標値		
42.9%	50.0%		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>目標値には及ばないものの、昨年度よりは2.8ポイント上昇している。 R3年度に実施した市民意識調査の結果であることから、R2年度冬季の状況に対する市民からの意見だと思われるが、R2年度も全体的に見て小雪傾向であったことから、肯定的な意見が増加したものと考えられる。</p>			

指標No. 66

指標		評価	
巡回バスの1便平均利用者数			
基準値	R4目標値		
11.0人	14.0人		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>巡回バスは運行から10年近くが経過し、利用者数も定着しつつあるものの、高齢化や人口減少に伴い利用者数は減少傾向にある。近年は新型コロナウイルスの影響による、外出頻度が減ったため、利用者数も減少傾向にある。</p>			

市民協働会議 評価	
--------------	--

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（2）機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク


【目指す姿】


- 生活道路や側溝等の生活環境が整っていて、安全で快適に暮らせること。
- 地域住民やボランティア等による除排雪の協力体制が整っていて、冬も安全に生活できること。
- 路線バス等の交通手段が整っていて、快適に移動できること。

【実施してきた主な事業】

事業名	道路改良事業
<事業内容> 老朽化した道路施設の修繕、狭い道路の拡幅及び側溝等の整備等を実施。	

事業名	地域の生活環境整備事業
<事業内容> 自治会などが市道の穴埋めや側溝の泥上げなどの維持補修を行う際に、砕石などの資材提供や重機の貸し出しを実施。	

事業名	除排雪対策事業	
<事業内容> 道路の除雪及び防雪柵の設置・撤去等を実施。		

事業名	地域公共交通活性化事業	
<事業内容> 市街地巡回バス「はまなす号」、向能代地区巡回バス「しのめ号」およびデマンド型（予約制）乗合タクシー「コサクル」（7路線）を運行。		

その他事業

浸水対策事業
 中心市街地道路施設更新事業
 除雪車更新事業

自治会等小規模雪捨て場事業
 生活バス路線等維持対策事業
 道路関係整備促進期成同盟会等活動事業

指標確認シート

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（3）快適で暮らしやすい住環境

指標No. 67

指標									評価
住宅耐震化率									順調
基準値	R4目標値								
66.3%	75%								
推移の分析・考えられる要因 令和2年度に能代市耐震改修促進計画で住宅の耐震化率の推計値を算定したが、県から示された算定方法が前回と異なる算定方法であった事により、住宅の耐震化率が大幅に改善し、目標値を超える事となった。									

指標No. 68

指標									評価
水道普及率									順調
基準値	R4目標値								
90.7%	92.0%								
推移の分析・考えられる要因 ・給水区域外の人口減少が大きかったためと思われる。									

指標No. 69

指標									評価
汚水処理人口普及率									横ばい
基準値	R4目標値								
70.7%	78.9%								
推移の分析・考えられる要因 ※R3末実績 0.761 事業継続中につき数値は上昇しているものの、公共下水道については計画から若干の遅れが出ているほか、浄化槽整備事業では設置希望者が計画より低い人数で推移している。									

指標			評価
公園や緑地の景観が維持されていると思う市民の割合			順調
基準値	R4目標値		
51.0%	基準値以上		
推移の分析・考えられる要因 市内公園（能代公園、街区公園等）の老朽化した施設の更新を年次計画で行なっており、公園利用者の満足度が向上したと考えられる。 また、公園愛護会等の協力を得ながら公園施設の点検・清掃を行ったことや、自治会等への花苗の無料配布を活用した市民の緑化活動により、市民の緑化に対する意識の高揚が図られた。			

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「順調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（3）快適で暮らしやすい住環境

【目指す姿】

- 安全な居住空間があり、安心して生活ができること。
- 飲用水の確保や生活排水の処理等により、衛生的で快適な生活環境であること。
- 安らぎのある憩いの場として、公園や広場等を安心して利用できること。

【実施してきた主な事業】

事業名	耐震改修促進事業
<事業内容> 昭和56年5月以前建築の木造戸建住宅の耐震診断及び耐震改修に対して助成を行い、地震による被害の防止・軽減を図る。	

事業名	住宅リフォーム支援事業
<事業内容> 住宅投資を促進するとともに、市民の居住環境の質の向上のため、既存住宅のリフォーム等の費用の一部を補助（上限20万円）する。	

事業名	公共下水道整備事業
<事業内容> 全体計画に沿って、公共下水道を整備していく。	

事業名	公園リニューアル事業
<事業内容> 能代公園ほか、主要な公園の魅力向上のための環境整備を行う。	

その他事業

市営住宅供給事業
浄水場整備事業
浄化槽設置整備事業

公園施設整備事業
きみまち阪公園等管理事業
檜山川運河改修事業

指標確認シート

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（4）自然と共生し持続できる環境・衛生

指標No. 71

指標		100% 90% 80% H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 目標値 92.0% ◇	評価
限りある資源を大切にすため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合			
基準値	R4目標値		
92.6%	92.0%		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>分別が定着してきており、強く意識しなくても分別ができるようになったことによる減少傾向にある。 ※数値が下がってきているが、全体のリサイクル率が上昇し、市民に分別が定着している現状であるため、順調と評価できる。</p>			

指標No. 72

指標		550g 525g 500g H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 目標値 512g ◇	評価
1人1日当たりごみ排出量（リサイクルできるものを除く）			
基準値	R4目標値		
527g	512g		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>家屋解体に伴う一般廃棄物の増により、1人1日あたりのごみの排出量が増になったことが考えられる。</p>			

指標No. 73

指標		10% 8% 6% H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 目標値 8.70% ◇	評価
リサイクル率（能代市回収分）			
基準値	R4目標値		
8.11%	8.70%		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>市資源ごみの回収量が民間事業所回収量の増加により減少し、リサイクル率が減少傾向にあることが考えられる。</p>			

指標		35団体 30団体 25団体		評価
のしろクリーンパートナー登録団体数				
基準値	R4目標値			
28団体	33団体			
推移の分析・考えられる要因 コロナ禍もより活動が思うようにできなかったため、団体数の増加につながらなかった				

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「横ばい」

【参考】事業等の確認資料

基本目標4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（4）自然と共生し持続できる環境・衛生

【目指す姿】

- 身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながる。
- 環境問題に対して適正に対処し、良好な環境を保全できること。
- 普段の生活からごみの減量化や資源化が進むこと。

【実施してきた主な事業】

事業名	環境のまちづくり推進事業
<p><事業内容> 生ごみの堆肥化普及啓発事業として各種講座の実施、資源循環に取り組む市民活動に対する補助、環境のまちづくりの広報活動、廃食用油の回収等を実施。</p>	

事業名	モア・リサイクルプラン推進事業
<p><事業内容> 廃棄物減量等推進員の活動支援、資源回収団体への支援、ごみ減量化の啓発活動等を実施。</p>	

事業名	ごみ・し尿処理事業（広域負担金）
<p><事業内容> 能代山本広域市町村圏組合で実施する、南部・北部清掃工場や中央衛生処理場の運営のほか、新たなごみ処理施設の整備に必要な負担金。</p>	



事業名	リサイクルセンター管理事業
<p><事業内容> 瓶、ペットボトル等の資源化物の引き渡しに必要な中間処理や分別を行う、リサイクルセンターの維持管理、運営を実施。</p>	

その他事業

環境学習推進事業
 一般環境調査事業
 ごみ収集運搬事業

斎場施設管理事業
 狂犬病予防事業
 害虫駆除等事業

指標確認シート

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（5）調和のとれた有効な土地利用

指標No. 75

指標		評価	
中心市街地活性化重点区域の空き店舗率		不調	
基準値	R4目標値	<p>20.8% 20.5%</p>	
20.8%	20.5%		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>後継者不在のほか、建物自体が老朽化し、店舗としての利活用が難しいことや、利用条件や家賃などで貸す側と借りる側のニーズがマッチしないことなどが要因となり増加傾向にある。</p>			

指標No. 76

指標		評価	
中心市街地の歩行者・自転車の通行量		不調	
基準値	R4目標値	<p>3579人 4,000人</p>	
3579人	4,000人		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>金融機関や高校の統合による移転、当該地区の人口減少等の結果、通行量は減少傾向にあり、また、新型コロナウイルスの影響により、市民の外出する頻度が低下したため、R2.3は特に通行量が減少傾向にある。</p>			

指標No. 77

指標		評価	
中心市街地区域内の居住人口		横ばい	
基準値	R4目標値	<p>12,066人 12,000人</p>	
12,066人	12,000人		
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>少子高齢化により減少傾向にある。</p>			

市民協働会議 評価	

参考：市の自己評価の平均値 → 「不調」

【参考】事業等の確認資料

基本目標4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（5）調和のとれた有効な土地利用

【目指す姿】


- それぞれの地域が持つ資源や特性が活かされ、この地域に合った良好な都市形成が進むこと。
- 中心市街地の定住促進や交流人口の増加により、人が集まり活気があること。

【実施してきた主な事業】

事業名	まちづくり計画策定事業
＜事業内容＞ 今後の個別事業を計画するうえでの指針となる土地利用やまちづくりの方向性を示す都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定を実施。	

事業名	中心市街地活性化推進事業
＜事業内容＞ 商業者団体やまちづくり団体への支援、中心市街地でのイベント実施、商店街イベントへの支援、地域おこし協力隊の配置、情報発信等により、様々な角度から中心市街地の活性化を図る。	

事業名	畠町大通り利活用促進にぎわい創出事業
＜事業内容＞ 街中の広い通りを「交流・集客拠点の場」に位置づけ、利活用促進についての実証実験を各種団体と連携して実施。 （令和3年度実施：「帰ってきた大通歩行者天国」 ※畠町大通りを歩行者天国としたイベントを実施）	

事業名	北高跡地活用調査等事業
＜事業内容＞ 北高跡地での6の市の開催、駐車場としての利用のほか、大学との連携により、市民が参加するワークショップ、現地での実証実験プログラムなどを行いながら、利活用の具体化に向けた取り組みを実施。	

その他事業

まちづくり計画策定事業

用途地域変更事業

魅力ある中心市街地エリア創出事業

市民プラザ事業

東中跡地活用調査等事業

指標確認シート

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（6）住民サービスに資する効率的な行財政基盤

指標No. 78

指標		評価
市職員は日頃仕事をよくやっていると 思う市民の割合		
基準値	R4目標値	
47.1%	60%	

推移の分析・考えられる要因
 ここ数年の実績を比較して上昇傾向にある。人材育成基本方針に基づき、市民が求める職員像を目指した研修や、市民から寄せられる接客対応アンケートの意見等により職員の接遇に接する意識や対応等が改善されてきているからと考える。また、ご遺族支援コーナーの開設も良い方向に働いていると考える。

指標No. 79

指標		評価
公共施設の延床面積		
基準値	R4目標値	
28.7万㎡	27.3万㎡	

推移の分析・考えられる要因
 令和2年度末の延床面積は28.4万㎡で、基準値（H26年度）に対し△0.3万㎡の微減にとどまっている。
 要因としては、旧二ツ井小学校の解体（H29年度）による減少があったものの、庁舎の建替え（H28年度）や道の駅ふたついの新設（H30年度）等大規模施設の整備があげられる。

指標No. 80

指標		評価
市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合		
基準値	R4目標値	
45.0%	50.0%	

推移の分析・考えられる要因
 市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合は、ほぼ横ばいとなっている。
 取り組みとしては、わかりやすい予算書の発行、広報のしろやホームページへの掲載、地元新聞社への情報提供等を行っているほか、令和3年度から予算議案をリアルタイムでホームページで閲覧できるようにしたこともあり、令和3年度の数値に反映されたものと考えている。

市民協働会議 評価	
--------------	--

参考：市の自己評価の平均値 → 「横ばい」

【参考】事業等の確認資料

基本目標4 安心して暮らしやすいまち（生活環境・行財政）

政策（6）住民サービスに資する効率的な行財政基盤


【目指す姿】

- 職員の能力が高まり、効率的な事務処理や良質なサービスにより、行政の信頼度が高いこと。
- 適正な受益と負担のもとで、収支のバランスが保たれ、将来にわたって行財政運営を持続できること。
- 国・県や大学、民間企業、関係団体、他地域との連携や協力により、地域の課題が解決できること。
- 行政情報が分かりやすく伝わり、市民と行政が地域の課題や行財政状況等を共有できること。

【実施してきた主な事業】

事業名	市民総合窓口設置事業
<事業内容> 戸籍・住民異動届のほか、国保・年金等の申請受付、税証明発行等を行う総合窓口の設置。	

事業名	ご遺族支援コーナー事業	
<事業内容> 亡くなられた方に関するさまざまなを総合的に案内する窓口の設置。		

事業名	わかりやすい予算書発行事業	
<事業内容> 市の予算の概要を市広報紙別冊として発行し、わかりやすく紹介。		

事業名	行財政改革推進事業
<事業内容> 行財政改革大綱の推進。 行政組織の簡素化、歳出の重点化・効率化、歳入の確保、将来を見据えて全市的視野で 真に必要なものを見極め等により、健全な行財政運営を進める。	

その他事業

市民サービスセンター設置事業
 公衆無線LAN整備事業
 広報発行事業

働き方改革「アクションぷらん」事業
 公共施設マネジメント事業
 職員研修事業